Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

2．ロジックモデルとは

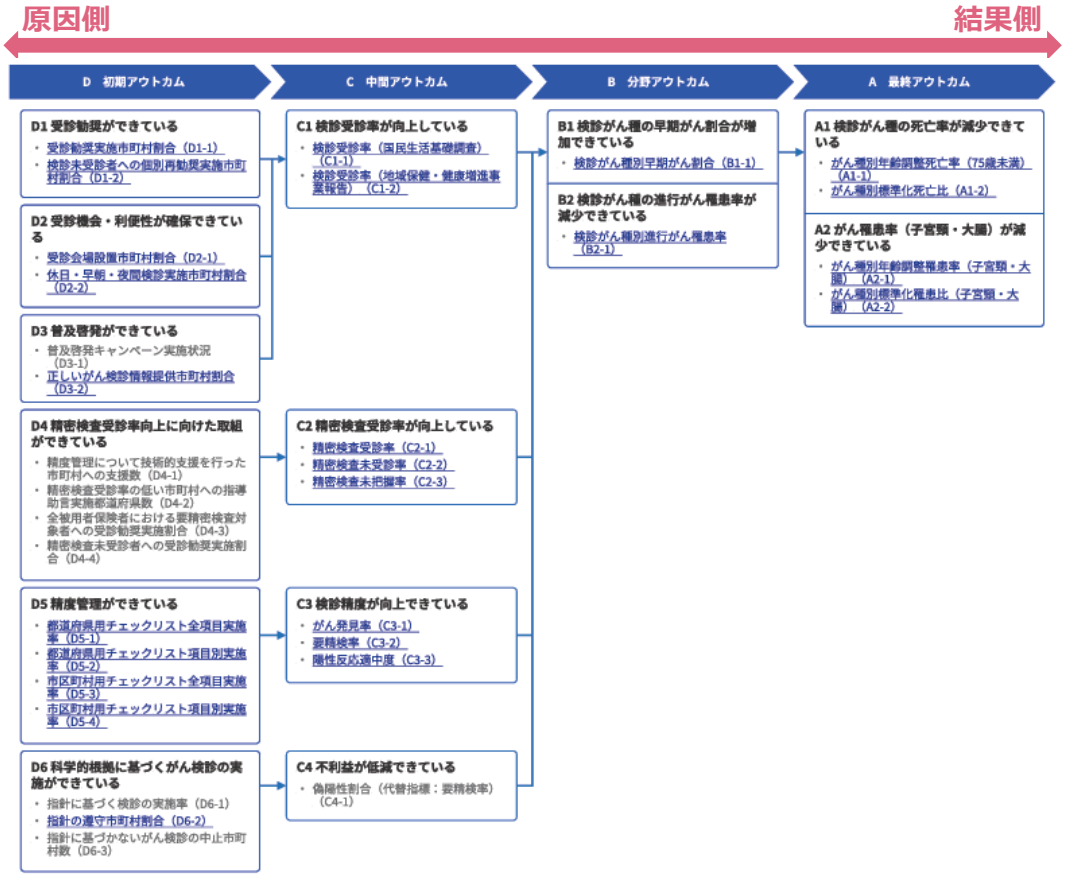
ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

がん検診のロジックモデルの全体像

がん検診データ「見える化」サイトのロジックモデルは、第4期がん対策推進基本計画のロジックモデル「がんの２次予防（がん検診）」のロジックモデルを基本として、都道府県・市区町村が地域診断しやすいように指標を追加したものです。

ロジックモデルの見方

- 右から左へ、最終アウトカム(A) →分野アウトカム(B) →中間アウトカム(C)→初期アウトカム(D)の順に並びます
- 左の階層が改善することで、右の階層の改善につながると想定しています
- 図の中の指標をHP上でクリックすると、その指標の画面が表示されます



ロジックモデルの４つの階層

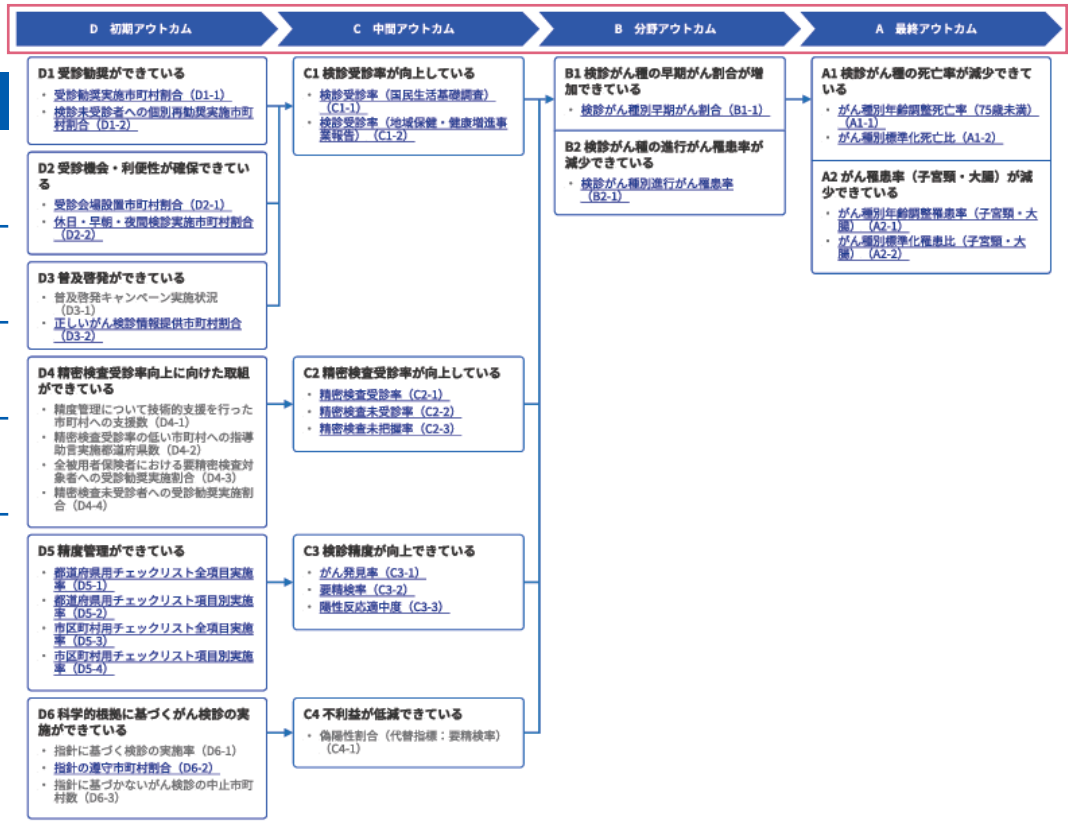
都道府県・市区町村の取組を通じて、初期アウトカム（D）の改善が、受診率や精度管理などの中間アウトカム（C）の改善につながり、その結果として早期発見（B）や死亡率減少（A）をめざします。

ロジックモデルの階層ごとの意味

階層	何を表すか
最終アウトカム(A)	施策が最終的にめざす、住民の状態
分野アウトカム(B)	最終アウトカムに直結する分野ごとの成果
中間アウトカム(C)	初期アウトカムによって生じる、対象者の行動や仕組みの変化
初期アウトカム(D)	施策の実施によって直接生じる変化

- 都道府県・市区町村の取組は、まず初期アウトカム（D）として表れ、それを通じて受診率などの中間アウトカム（C）の改善につながります
- 右の階層ほど、変化が数値に表れるまでに時間がかかります

ロジックモデルの階層

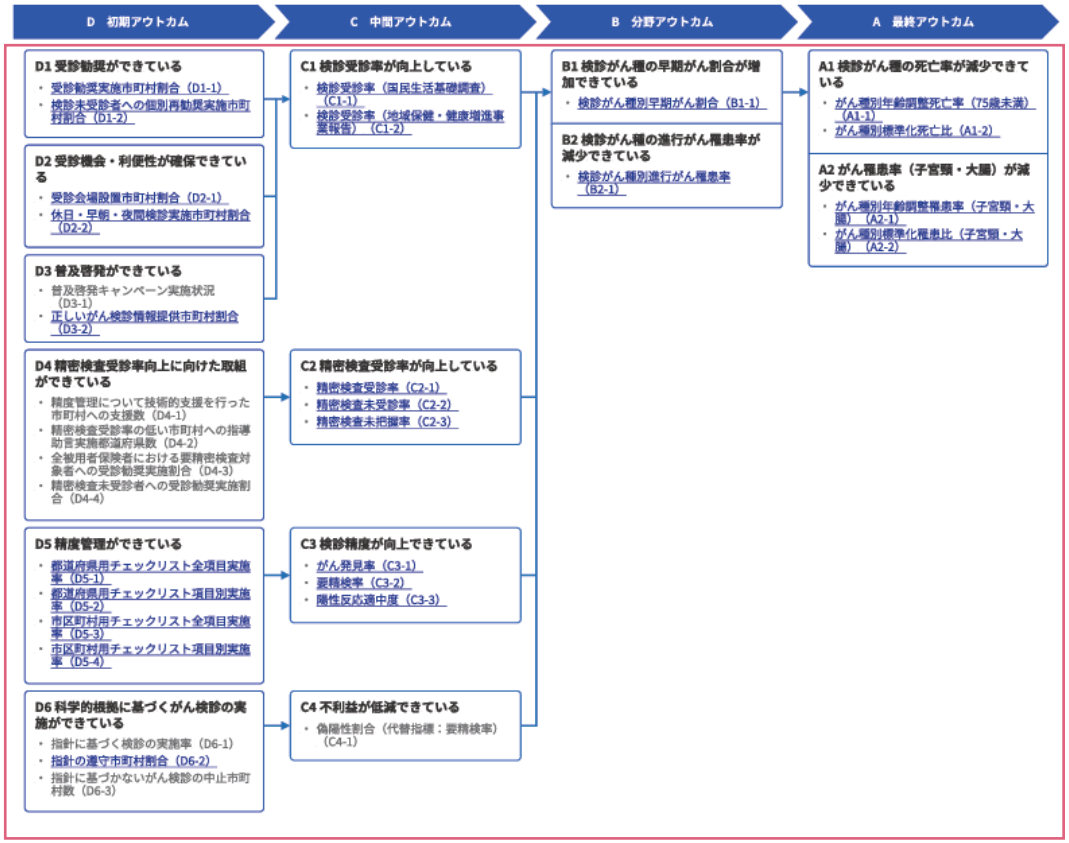


ロジックモデルの指標

がん検診データ「見える化」ツールでは、がん検診に関する各種指標データをロジックモデルに沿って確認できます。ロジックモデルから確認したい指標を選択し、がん種（５がん）・地域ごとのデータを確認できます。地域ごとの状況を把握し、都道府県・市区町村におけるがん検診事業の課題分析や取組の企画・施策評価にご活用ください。

ロジックモデルの指標

- 指標にはリンク先が存在しないものが含まれます。これらは画面がない指標です
- C4-1 偽陽性割合は、C3-2 要精検率で代用しています。



ロジックモデルの指標

参考指標（A0）とロジックモデル

トップ画面の上部にある「参考」では、検診対象のがん種について、死亡と罹患の状況を4つの参考指標（A0-1～A0-4）と2つの散布図（A0-1×A0-3、A0-2×A0-4）でまとめて確認できます。ロジックモデルの因果の流れに入る前に、自分の地域の状況の全体観を把握するための入口としてご利用ください。

参考指標（A0）の一覧

- A0-1 がん種別年齢調整死亡率（75歳未満）
- A0-2 がん種別標準化死亡比（SMR）
- A0-3 がん種別年齢調整罹患率
- A0-4 がん種別標準化罹患比（SIR）

参考指標と最終アウトカムの違い

- A0-1とA1-1は全く同じグラフを掲載しています
- A0-2は都道府県別の標準化死亡比を掲載しています。A1-2は市区町村別です
- A0-3・A0-4は検診がん種についてグラフを掲載していますが、A2-1・A2-2は大腸・子宮頸についてのグラフのみ掲載しています



取組の３つの系統

受診率を上げる取組と、検診の質を保つ取組の両方が揃って、はじめて成果につながります。

ロジックモデルの取組区分

- 取組は以下３つに区分されます
- どの取組も、最終的には分野アウトカム(B)及び最終アウトカム(A)の改善につながります
- 受診率が高くても、精度管理が不十分だと成果につながりません。両方見る必要があります

1 受診率対策

より多くの対象者に検診を受けてもらう

D1 受診勧奨、D2 受診機会・利便性、D3 情報提供⇒C1 検診受診率

2 精度管理

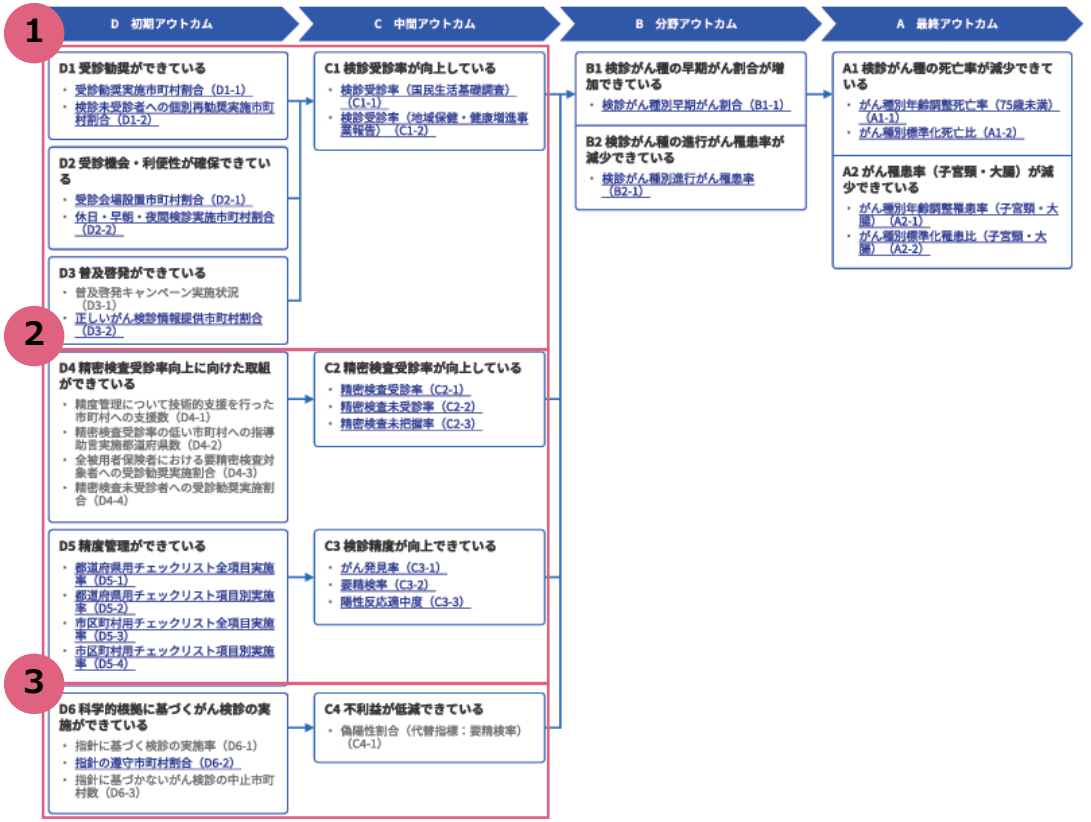
検診と精密検査を、適切な質で行う

D5 チェックリスト⇒C3 検診精度

3 科学的根拠に基づく検診の実施

国の指針に沿った方法・対象年齢・間隔で行う

D6 指針の遵守⇒C4 不利益の低減



がん種と提供体制の区分

同じ指標でも、がん種や提供体制によって数値が異なります。画面では、まず選択欄で見たい区分を選んでください。

がん種と提供体制

1 がん種

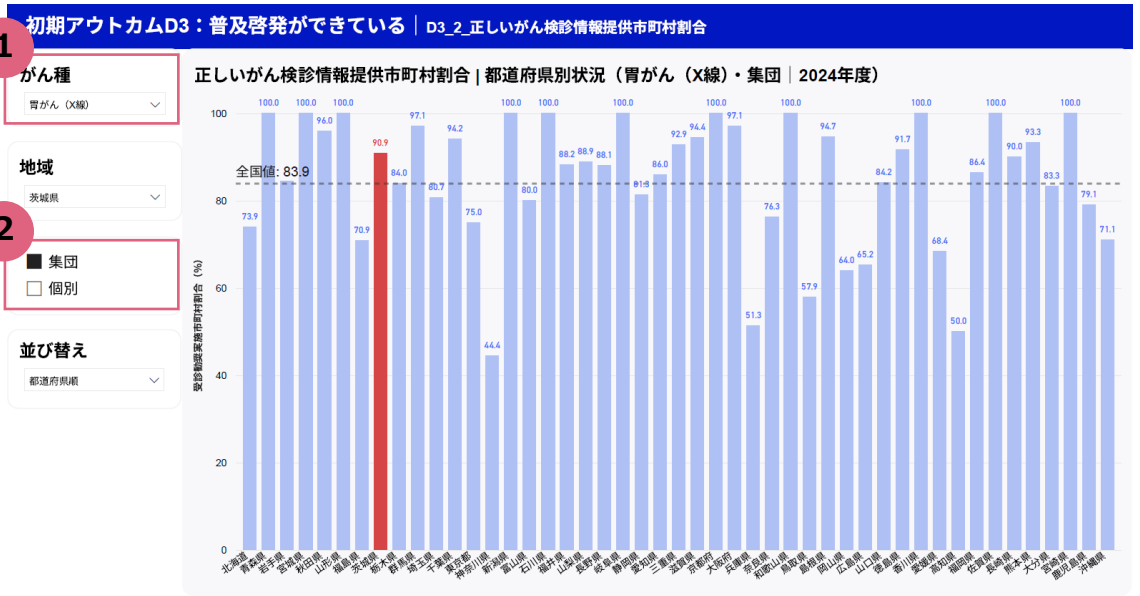
胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん

- 乳がんと子宮頸がんは女性のみが対象です
- 胃がんは、X線検査と内視鏡検査に分けて示す指標があります（C2、C3、D3-2、D5など）

2 提供体制

集団検診、個別検診

- 集団検診は、検診車や保健センターなどで日時を決めて行う方式です
- 個別検診は、医療機関で個別に受ける方式です
- D2、D3-2、D5などは、方式ごとに数値が分かれます



がん情報サービス「第4期がん対策推進基本計画 ロジックモデル／評価指標（都道府県単位）」（令和８年７月３１日更新）